土屋新聞

発行所
株式会社　土屋
0120-547-278

ペットと暮らす家

ペットの数は子供より多い

「ペットも人も快適な家」の提案

日本にペットがどのくらい飼われているか、ご存知ですか？何と犬が約一一〇〇万頭、猫が約八〇〇万頭も。合わせて一九〇〇万頭。ちなみに15歳未満の人口が約一八〇〇万人ですから、ペットの方が子供よりも多いことになります。

また、調査によれば、今ペットを飼っている世帯は全体の39%に上り、機会があったら飼ってみたいという世帯も24%。合わせて6割以上の世帯が、ペットと暮らすことに関心を持っているのです。

では、飼い主とペットは果たして今の状況に満足しているのでしょうか？かつて自由に放し飼いされていた犬は、庭につながれるようになり、さらに最近では、室内飼いされるようになってきて、ペットの飼育環境は、従来と大きく変わってきています。

そんな中、飼い主は傷や汚れ、ニオイなどの問題に悩む一方、ペットも床の滑りや落ち着かない生活環境などにより、ストレスを受け、健康を損なうケースが増加。

ペットを可愛がっている家ほど、住宅に対する不満は募ります。「いつも一緒にいたいけど、ニオイがする」「家を汚れるとお客の際困る」「家をぼろぼろにされても、打つ手が無い」。さらにペットの身になって「犬が走るとき、床が滑ってかわいそう」「猫が運動不足になってかわいそう」…などなど。困り事の原因は、しつけの問題以外にペットの習性に由来することもあります。習性に従って床や壁の素材を工夫したり、適切な設備を取り付けたり、室内の動線を工夫することで、ペットにもやさしく、飼い主も便利な住まいを実現することができます。

消臭機能のある壁材を選ぶ
ペットが直接届かない腰壁より上に消臭効果や有害物質を吸着する性質のある「エコカラット」や珪藻土を使えば、部屋の空気環境対策も同時に行うことができます。

腰壁は汚れを落としやすい壁材にする
体高＋30cmの腰壁までは、傷に強く汚れの落としやすい壁紙やタイル、木材を腰壁として使用します。

ハウスの設置場所を決めておく
犬から飼い主が見える範囲に「ハウス」を設置する場所を確保します。リビングの一角や階段下などの空間を利用して床にタイルを張れば、汚物や食事の食べこぼしにも安心です。

玄関は清掃しやすい素材に
床は水を流して洗えるタイルや石材が適しています。またポストの近くや玄関ドアの近くにリードフックがあれば便利です。

滑らない、掃除しやすい床にする
通常のフローリングは非常に滑りやすいので、滑らないタイルやフローリング材などを使用するか、部分的に張り替え可能なタイルカーペットなどを活用します。また抜け毛が多いので清掃しやすいことも重要です。

階段は緩やかに、滑り止めを付ける
蹴上げは20cm以下に抑えます。また滑り止めマットも付けておいた方がいいでしょう。

掃除しやすい床材に
猫は体を清潔に保つためのグルーミングのときに毛を飲み込み、胃の中に毛玉ができるとそれを吐き出します。こうした汚れやおしっこなどでも染みにならず掃除のしやすい床材を選びましょう。

高低差をつくる
キャットツリーを設置したり、猫がジャンプできる家具の配置や駆け上がれる家具の配置を考えると、高低差をつくることができます。

できればキャットウォークを作る
高い所を歩き回れるキャットウォークがあれば、猫が喜びます。外が眺められるように天窓を付け猫草を置けばさらに心地よくなります。

滑らない、掃除しやすい床にする
通常のフローリングは非常に滑りやすいので、滑らないフローリング材やシート、タイルなどを使用するが、部分的に張替え可能なタイルカーペットなどを活用します。

猫にとっての危険を取り除く
猫にとって、家の中は危険がいっぱいです。コードにじゃれて感電したり、お風呂や洗濯機で溺れたり、ストーブやガスコンロでやけどしたり、ベランダから転落したり…。IHクッキングヒーターや床暖房をうまく使って、事故を防ぎましょう。

爪とぎに耐える床と壁にする
万一引っかかれても大丈夫な床材や壁紙・壁素材などを採用することが必要です。
また犬と違って上下で動きますから、床面に近い部分だけでなく、天井まで、すべての部分で対応をする必要があります。

家のことは何でも
ツチヤ

株式会社土屋

人にやさしい街づくりを

工務課主任　谷口　直哉

皆様、ユニバーサルデザインという言葉をご存知でしょうか？お年寄りや障害のある人はもちろん、すべての人を対象に使いやすい物や街、環境を作るというこの考えは1990年ごろ、米国で提唱され世界に広がりました。私共はこれをグローバルスタンダード（世界的基準）として、住宅建築に取り入れ、住む人に優しく使いやすい家を提供しております。

住宅街を歩いていると、傷んだままケアされていない家をよく目にします。そのまま放置していると大事に至り、余計に予算がかかってしまいます。アフターメンテナンスで早期発見・早期治療が必要です。また日本の場合、宅建業法では木造住宅の耐用年数が35年とされています。リフォームをして資産価値を少しでも増やしたり、住む人に優しく使いやすい家にされてみてはいかがでしょうか？そのときは是非、当社へ！

健康コーナー

緑茶の力

緑茶の摂取が健康にもたらす有益性は何世紀にもわたってごく最近に告されてきたが、その特性が科学的に薬とし研用とされるようになった。

その結果、緑茶摂取と皮膚癌、乳癌、肺癌、結腸癌、食道癌および膀胱癌など数種の癌発生リスクの低下との間に何らかの関係が認められることが判明した。まず、緑茶に含まれる紅茶酸化物ポリフェノールの抗酸化作用が、LDL（悪玉）コレステロール値を増大し、動脈機能が改善することが明らかにされている。「ハーバード大学女性の健康を守る会」による推奨事項を茶の摂取に関する左記に示す。

・緑茶を摂取する習慣のある地域では、1日3杯が典型的な摂取量である。

・疾患を予防する栄養分を吸収するには、入れる際に3～5分浸し、それを直後に飲むのが最良の抽出法である。

・緑茶は果物や野菜に含まれる鉄分の吸収を妨げる。レモン果汁や牛乳を加えることができる。

2005年も住まい作りの基本は、耐震性です。

福岡県西方沖地震をはじめ被災地の報道がされるたびに防災意識が高まっています。昭和56年以前に建てられた古い木造住宅の耐震診断費用を一部負担し、耐震診断を広める自治体も増えています。新築をお考えのお客様、古い木造住宅にお住まいの方で建て替えをお考えの方には、耐震性に考慮したお住まいを提案します。

耐震住宅の提案

フリーダイヤル　ごようなら　つちや
0120－547－278

一級建築士事務所
株式会社　土屋

土屋ホームシステム
『愛住（あいす）』
お気軽にご相談下さい！